

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年 3月24日 (第164報)
発信時刻 0時54分

経済産業大臣、福島県知事、楡葉町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏
連絡先 0240-25-4111(代) ()

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楡葉町大字波倉字小浜作12	
特定事象の発生箇所	福島第二原子力発電所 第 一 号炉	
特定事象の発生時刻	平成 23年 3月 14日 21時 58分 16日 0時 00分	
要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (<input type="checkbox"/> する, <input checked="" type="checkbox"/> しない)
	想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 福島第一原子力発電所の影響 <input type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻: 0時00分)	被ばく者の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: _____
	気象情報 (確認時刻: 0時00分)	天候: 晴れ 風向: 方位 北西 風速: m/s 5.0 大気安定度: F (10m)
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 調査中
	応急措置	/

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3月11日 0時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均熱密度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3月11日 0時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.25 (kg/cm ² (MPa[gage])) 上昇・下降(安定)制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↓	30.6 °C 給水ノズル温度
原子炉水位 →	5000 mm (SFC(基準域) 燃料頂部から 9196 mm →)
外部電源	(受電有)無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	(正常)異常
ECCS の作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
ECCS の作動・低圧系	作動(未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入)未挿入
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の開閉	(閉)開
格納容器の隔離状態	(隔離)非隔離
格納容器圧力 ↓	5.3 (kg/cm ² (kPa[gage]))
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 25 °C → RFR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式 B-1 (2/4)

2号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/24日 0時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/24日 0時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.02 (kg/cm ² g [MPa [gage]]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	28.3℃ 給水ノズル温度
原子炉水位	6100 mm (基準線) 燃料頂部から10296 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力	4.7 (kg/cm ² g [kPa [gage]])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 24℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1 (2/4)

8号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(月日 時分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年8月11日14時48分
炉心平均熱燃度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(月日 時分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.0 / (kg/cm ² g) (MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	34.1 °C 給水ノズル温度
原子炉水位 →	34.00 mm (本機) 燃料頂部から 7596 mm →
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 <input type="checkbox"/> 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 <input type="checkbox"/> 未挿入
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 <input type="checkbox"/> 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 <input type="checkbox"/> 非隔離
格納容器圧力 ↘	1.98 (kg/cm ² g) (kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 ≥6 °C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

機式 8-1 (2/4)

4号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (9/11日 0時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年9月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出口場所名: (地上高: m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (9/11日 0時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.05 (kg/cm ² ・MPa [gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	29.7℃ 給水ノズル温度
原子炉水位	4600 mm (S/C) 燃料頂部から 8996 mm →
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 未挿入 CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 非隔離
格納容器圧力	≒ (kg/cm ² ・kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サブプレッションプール水温度 28℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(24日 0時 00分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	 (この表のデータは削除されています)
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm ³) ヨウ素(Bq/cm ³) 総量(Bq/cm ³)	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(24日 0時 00分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
 ※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻 (23日 23時 30分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 : 5.5 cps , 2号機 : 5.1 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 : 4.1 cps , 4号機 : 6.1 cps
	Rw/B : 5.9 cps

固定式モニタリング設備地点		設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
γ線空間線量率	23時 10分	13.8 μSv/h	8.1 μSv/h	13.4 μSv/h	10.6 μSv/h	9.9 μSv/h	11.1 μSv/h	-	-
	23時 20分	13.8 μSv/h	8.2 μSv/h	13.4 μSv/h	10.5 μSv/h	9.9 μSv/h	11.1 μSv/h	-	-
	23時 30分	13.8 μSv/h	8.1 μSv/h	13.4 μSv/h	10.5 μSv/h	9.9 μSv/h	11.0 μSv/h	-	-
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点		設備地点名				
γ線空間線量率	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名					
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名					
	時 分		Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分		Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分		Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分		Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名					
項目	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回16時00分の測定値を記載。

8. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。
 注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(24日 0時 00分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 5.8 cps, 2号機: 5.4 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 4.0 cps, 4号機: 6.0 cps
	Rw/B: 5.0 cps

固定式モニタリング設備地点								
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7※
	23時40分	13.8 μSv/h	8.2 μSv/h	13.4 μSv/h	10.5 μSv/h	9.8 μSv/h	11.0 μSv/h	- μSv/h
	23時50分	13.7 μSv/h	8.1 μSv/h	13.4 μSv/h	10.5 μSv/h	9.8 μSv/h	11.0 μSv/h	- μSv/h
	00時00分	13.7 μSv/h	8.1 μSv/h	13.4 μSv/h	10.5 μSv/h	9.8 μSv/h	11.0 μSv/h	- μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点								
γ線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名							
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名							
項目	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回15時00分の測定値を記載。

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉加設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年 3月24日 (第165報) 発信時刻 3時38分

経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所 増田 尚宏
連絡先 0240-25-4111(代) ()

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作1-2	
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第 一 号炉	
特定事象の発生時刻		平成 23年 3月 14日 21時 58分 16日 0時 00分	
発生した特定事象の概	特定事象の種類	放射境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (<input type="checkbox"/> する, <input checked="" type="checkbox"/> しない)	
	特定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 福島第一原子力発電所の影響 <input type="checkbox"/> 調査中	
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設、設備の状況等	別紙を参照	
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 3時00分)	被ばく者の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:	
	気象情報 (確認時刻 8時00分)	天候: 曇り 風向: 方位 北西 風速: m/s 2.5 大気安定度: F (10m)	
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 調査中	
	応急措置	/	

2011年 3月24日 3時45分

東京電力(株) 原子力立地 会議室

No. 4045 P. 2

様式 8-1 (2/4)

1号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状況

項目	確認時刻 (3/24日 3時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/24日 3時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.05 (kg/cm ² (MPa(gage))) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	30.6 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	5000 mm SHC (左領域) 燃料頂部から 9196 mm
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 <input type="checkbox"/> 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 <input type="checkbox"/> 無
余熱除去系の機組維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常
ECCS の作動・高圧系	作動 <input type="checkbox"/> 未作動 作動後手動停止
ECCS の作動・低圧系	作動 <input type="checkbox"/> 未作動
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 <input type="checkbox"/> 未挿入
ボロン添加	添加 <input checked="" type="checkbox"/> 未添加
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 <input type="checkbox"/> 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 <input type="checkbox"/> 非隔離
格納容器圧力	5.3 (kg/cm ² (kPa(gage)))
格納容器スプレイ作動	作動 <input type="checkbox"/> 未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 25 °C RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

2011年 3月24日 3時46分 東京電力(株) 原子力立地 会議室

No. 4045 P. 3

2号機

様式B-1 (2/4) 【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/24日 3時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出 <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出 <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/24日 3時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.02 (kg/cm ² MPa [gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ナットレク)	28.1℃ 給水ノズル温度
原子炉水位	6100 mm (SHC (圧縮機) 燃料頂部から10296 mm)
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 (未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動 (未作動) 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力	4.7 (kg/cm ² kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 24℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

2011年 3月24日 3時46分 東京電力(株) 原子力立地 会議室

No. 4045 P. 4

様式8-1 (2/4)

3号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(年月日 時分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均線燃度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口名)	放出口所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(年月日 時分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.01 (kg/cm ² (MPa(gage))) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレク)	84.2 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	3400 mm (SHC) 燃料頂部から 7596 mm
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力	2.04 (kg/cm ² (kPa(gage)))
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 26 °C → R.H.R. (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

2011年 3月24日 3時46分

東京電力(株) 原子力立地 会議室

No. 4045 P. 5

様式8-1 (2/4)

4号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (月 日 時 分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射線物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射線物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (月 日 時 分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.05 (kg/cm ² (MPa [gag])) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレク) →	29.7℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 ↓	4500 mm SHC (異常値) 燃料頂部から 2696 mm ↓
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入 CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 →	2 (kg/cm ² (kPa [gag]))
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 40℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1(3/4)
【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(24日 3時 00分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm ³) ヨウ素(Bq/cm ³) 総量(Bq/cm ³)	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種別	評価時刻(24日 3時 00分)			
	日時分	日時分	日時分	日時分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。
 注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(24日 2時 30分)
排気筒モニタ	1号機: 5.2 cps, 2号機: 4.8 cps
格納容器排気筒モニタ	3号機: 3.9 cps, 4号機: 5.9 cps
補助建屋排気筒モニタ	Rw/B: 5.2 cps

固定式モニタリング設備地点		MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
γ線空間線量率	設備地点名	13.5	8.0	13.1	10.4	9.7	10.8	-
	2時10分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	2時20分	13.5	8.0	13.1	10.3	9.7	10.9	-
	2時30分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	

可動地点		設備地点名				
γ線空間線量率	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名					
項目	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					

* 上記項目については、情報が得られたものから記入し、空欄に接続することとする。
 * データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

* MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可動型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1月1回15時00分の測定値を記載。

様式8-1(4/4)

8. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要の情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(24日 3時 00分)
排気筒モニタ	1号機: 5.3 cps, 2号機: 4.9 cps
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 8号機: 5.0 cps, 4号機: 6.0 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: RW/B: 4.9 cps

固定式モニタリング設備地点								
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	2時40分	13.5 μSv/h	8.0 μSv/h	13.1 μSv/h	10.3 μSv/h	9.7 μSv/h	10.8 μSv/h	-
	2時50分	13.5 μSv/h	8.0 μSv/h	13.1 μSv/h	10.5 μSv/h	9.6 μSv/h	10.8 μSv/h	-
	3時00分	13.5 μSv/h	8.0 μSv/h	13.1 μSv/h	10.3 μSv/h	9.7 μSv/h	10.8 μSv/h	-
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	

可動地点								
γ線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名							
	時 分	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3
	時 分	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3
	時 分	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3
	時 分	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3	Bq/cm3
その他測定項目	設備地点名							
	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							

*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

*データについては、およびその値(測定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回16時00分の測定値を記載。

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年 3月 24日 (第166報) 発信時刻 6時35分		
経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、富岡町長 殿		
通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏 連絡先 0240-26-4111(代) ()		
特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づき通報以後の情報を通報します。		
原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楢葉町大字波合字小浜作1 2	
特定事象の発生箇所	福島第二原子力発電所 第 一 号炉	
特定事象の発生時刻	平成 23年 3月 24日 21時 58分 16日 0時 00分	
要 発生した特定事象の概	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (□する, ■しない)
	想定される原因	■特定 福島第一原子力発電所の影響 □調査中
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設、設備の状況等	別紙を参照
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 6時00分)	被ばく者の状況 ■無 □有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 ■無 □有:
	気象情報 (確認時刻 6時00分)	・天候 : 曇り ・風向 : 方位 西 南 西 ・風速 : m/s 2.7 ・大気安定度 : ↓ (10m)
	周辺環境への影響	□無 □有: 調査中
応急措置		/

様式 8-1 (2/4)

1号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (24日 6時00分)
特定事象発生時の出力:	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (24日 6時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.05 (kg/cm ² (MPa(gage))) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↓	201.5 °C 給水ノズル温度
原子炉水位 →	5000 mm SHC (圧縮時) 燃料頂部から 9196 mm →
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 <input type="checkbox"/> 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 <input type="checkbox"/> 無
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 <input type="checkbox"/> 未挿入
ボロン添加	添加 <input checked="" type="checkbox"/> 未添加
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 <input type="checkbox"/> 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 <input type="checkbox"/> 非隔離
格納容器圧力 ↓	6.2 (kg/cm ² (kPa(gage)))
格納容器スプレイ作動	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 25 °C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1 (2/4)

2号機 【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3月6日 6時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成28年3月11日14時48分
炉心平均熱燃度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3月6日 6時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.02 (kg/cm ² ・MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↓	27.9 °C 給水ノズル温度
原子炉水位 →	6100 mm ^{SHC} (異常値) 燃料頂部から10296 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
BCCSの作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
BCCSの作動・低圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 ↓	4.6 (kg/cm ² ・kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サブプレッションプール水温度 24 °C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1 (2/4)

3号機 【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3月6時20分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年9月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3月6時20分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.01 (kg/cm ² MPa [gag]) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレク)	243 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	2400 mm (燃料) 燃料頂部から 7576 mm
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCS の作動・高圧系	作動 (未作動) 事前に作動防止
ECCS の作動・低圧系	作動 (未作動) 事前に作動防止
全ての制御挿挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力	1.95 (kg/cm ² MPa [gag])
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温 27 °C ↑ RIR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が出たものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式B-1 (2/4)

4号機 【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3月 6 時 00 分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出箇所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3月 6 時 00 分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.05 (kg/cm ² ・MPa [gauge]) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ボットレグ) ↓	29.5℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	4500 mm (正常) 燃料頂部から 8696 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の後継維持	(正常) 異常
BCCSの作動・高圧系	作動 (未作動) 事前に作動防止
BCCSの作動・低圧系	作動 (未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入 CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 →	2 (kg/cm ² ・kPa [gauge])
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 28℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1(9/4)

【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(24日 6時 00分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	/
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm ³) ヨウ素(Bq/cm ³) 総量(Bq/cm ³)	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(24日 6時 00分)			
	日時分	日時分	日時分	日時分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に通報することとする。

※データについては、およその値(総定値を含む)を記載することも可とする。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。
 注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	観測時刻 (24日 6時 30分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 5.1 cps, 2号機: 5.0 cps
補助燃焼室排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 4.4 cps, 4号機: 6.2 cps
	Rv/B: 5.5 cps

固定式モニタリング設備地点		MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
γ線空間線量率	設備地点名	13.3	7.8	13.0	10.2	9.5	10.6	-
	5時 10分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	5時 20分	13.3	7.8	13.0	10.1	9.5	10.7	-
	5時 30分	13.3	7.8	12.7	10.2	9.5	10.6	-
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	

可動地点		MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
γ線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名							
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名							
項目	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
 ※データについては、およびその他(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回15時00分の測定値を記載。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(14 日 8 時 00 分)							
排気筒モニタ								
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 5.6 cps, 2号機: 6.1 cps							
補助蒸気排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 3.7 cps, 4号機: 6.2 cps							
	RW/B: 5.4 cps							
固定式モニタリング設備地点								
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	5 時 40 分	13.3 μSv/h	7.8 μSv/h	13.0 μSv/h	10.7 μSv/h	9.5 μSv/h	10.6 μSv/h	-
	5 時 50 分	13.2 μSv/h	7.8 μSv/h	12.9 μSv/h	10.1 μSv/h	9.5 μSv/h	10.6 μSv/h	-
	6 時 00 分	13.2 μSv/h	7.8 μSv/h	13.0 μSv/h	10.1 μSv/h	9.4 μSv/h	10.6 μSv/h	-
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点		設備地点名				
γ線空間線量率	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名					
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名					
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
項目	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※ブークについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可動型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1月1回15時00分の測定値を記載。

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

8枚

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年 3月24日 (第167報)
発信時刻 9時50分

経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏
連絡先 0240-25-4111(代) ()

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12	
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第 一 号炉	
特定事象の発生時刻		平成 23年 3月 14日 21時 58分 15日 0時 00分	
要発生した特定事象の概	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (<input type="checkbox"/> する, <input checked="" type="checkbox"/> しない)	
	想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 福島第一原子力発電所の影響 <input type="checkbox"/> 調査中	
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照	
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 9時00分)	被ばく者の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:	
	気象情報 (確認時刻 9時00分)	天候 : 晴れ 風向 : 方位 南東 風速 : m/s 4.1 大気安定度 : B (10m)	
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 調査中	
	応急措置	/	

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/24日 9時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射線物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射線物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/24日 9時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.05 (kg/cm ² g) (MPa [gage]) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレク)	30.4 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	5000 mm SHC (低帯域) 燃料頂部から 9196 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 (未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動 (未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力	5.1 (kg/cm ² g) (kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 25 °C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/24日 9時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/24日 9時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.02 (kg/cm ² ・MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↗	28.1℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	6100 mm (FIC) 燃料頂部から10296 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 √	4.4 (kg/cm ² ・kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 24℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/24日 9時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/24日 9時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.0 / (kg/cm ² ・MPa [gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレク) →	34.3℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	3400 mm ^{SIC} 燃料頂部から 7596 mm →
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 異常
BCCSの作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
BCCSの作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 未挿入
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 非隔離
格納容器圧力 ↓	1.82 (kg/cm ² ・kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 27℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (7/24日 9時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口名)	放出口名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (7/24日 9時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.04 (kg/cm ² ・MPa [gagel]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレク)	29.5℃ 給水ノズル温度
原子炉水位	4000 mm ^{SHC} (正常域) 燃料頂部から 8196 mm
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有/無
非常用ディーゼル発電機運転	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有(無)
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常/異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入/未挿入 CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉/開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離/非隔離
格納容器圧力	3 (kg/cm ² ・kPa [gagel])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 28℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(24 日 9 時 00 分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	/
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm ³) ヨウ素(Bq/cm ³) 総量(Bq/cm ³)	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(24 日 9 時 00 分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
 ※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。
 注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(24 日 8 時 30 分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 5.2 cps、2号機: 4.8 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 3.9 cps、4号機: 5.9 cps
	Rw/B: 4.7 cps

固定式モニタリング設備地点								
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	8 時 10 分	13.1 μSv/h	7.8 μSv/h	12.7 μSv/h	10.0 μSv/h	9.3 μSv/h	10.5 μSv/h	-
	8 時 20 分	13.1 μSv/h	7.8 μSv/h	12.8 μSv/h	10.0 μSv/h	9.4 μSv/h	10.5 μSv/h	-
	8 時 30 分	13.1 μSv/h	7.7 μSv/h	12.7 μSv/h	10.0 μSv/h	9.3 μSv/h	10.5 μSv/h	-
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点					
γ線空間線量率	設備地点名				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名				
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名				
項目	時 分				
	時 分				
	時 分				
	時 分				
	時 分				

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
 ※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回15時00分の測定値を記載。

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。
 注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(24日 9時 00分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 : 6.0 cps, 2号機 : 5.0 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 : 4.0 cps, 4号機 : 6.0 cps
	Rw/B : 5.6 cps

γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	8時40分	13.1	7.7	12.7	10.0	9.3	10.5	-
8時50分	13.1	7.7	12.7	10.0	9.3	10.5	-	
9時00分	13.1	7.7	12.7	10.0	9.3	10.4	-	
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	

γ線空間線量率	設備地点名				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名				
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名				
項目	時 分				
	時 分				
時 分					
時 分					

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
 ※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回15時00分の測定値を記載。

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

8

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年3月24日 (第168報)
発信時刻 12時52分

経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏
連絡先 0240-25-4111(代) ()

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作1-2	
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第 一 号炉	
特定事象の発生時刻		平成 23年 3月 14日 21時 58分 15日 0時 00分	
要 発生した特定事象の概	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (口する, ■しない)	
	想定される原因	■特定 福島第一原子力発電所の影響 口調査中	
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照	
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 12時00分)	被ばく者の状況 ■無 口有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 ■無 口有:	
	気象情報 (確認時刻 12時00分)	天候 : 晴れ ✓ 風向 : 方位 南東 ✓ 風速 : m/s 6.9 ✓ 大気安定度 : B ✓ (10m)	
	周辺環境への影響	口無 口有: 調査中	
応急措置		/	

様式B-1 (2/4)

1号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/4日 12時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/4日 12時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.05 (kg/cm ² ・MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↘	30.3 °C 給水ノズル温度
原子炉水位 →	5000 mm (SIC) 燃料頂部から 9196 mm →
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 異常
BCCSの作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
BCCSの作動・低圧系	作動(未作動)
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 未挿入
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の開止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 非隔離
格納容器圧力 ↗	5.2 (kg/cm ² ・kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 25 °C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1 (2/4)

2号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/24日 12時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/24日 12時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.02 (kg/cm ² ・MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	28.1℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	6100 mm (燃料頂部から) 10296 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 (未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動 (未作動) 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 ↗	4.7 (kg/cm ² ・kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 24℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1 (2/4)

3号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/24日12時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/24日12時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.01 (kg/cm ² g・MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	34.3℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	3400 mm (基準線) 燃料頂部から 7596 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 ↗	2.05 (kg/cm ² g・kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 27℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式 8-1 (2/4)

4号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/24日/2時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/24日/2時00分)
1 次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.04 (kg/cm ² g) (MPa [gage]) 上昇・下降 (安定) 制御中
1 次冷却系の温度(ボットレグ) ↗	27.6℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	4000 mm (SHC) 燃料頂部から 9196 mm →
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 <input type="checkbox"/> 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 (未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動 (未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 <input type="checkbox"/> 未挿入 CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 <input type="checkbox"/> 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 <input type="checkbox"/> 非隔離
格納容器圧力 →	3 (kg/cm ² g) (kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 28℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(24 日 12 時 00 分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	/
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm ³) ヨウ素(Bq/cm ³) 総量(Bq/cm ³)	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(24 日 12 時 00 分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記録することも可とする。

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(24日 11時 30分)	
排気筒モニタ		
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 : 5.7 cps	2号機 : 4.9 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 8号機 : 3.8 cps	4号機 : 6.0 cps
	Rw/B : 5.1 cps	

固定式モニタリング設備地点								
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	11時 10分	12.9 ^{μSv/h}	7.6 ^{μSv/h}	12.5 ^{μSv/h}	9.8 ^{μSv/h}	9.2 ^{μSv/h}	10.3 ^{μSv/h}	-
	11時 20分	12.9 ^{μSv/h}	7.6 ^{μSv/h}	12.6 ^{μSv/h}	9.8 ^{μSv/h}	9.1 ^{μSv/h}	10.3 ^{μSv/h}	-
	11時 30分	12.9 ^{μSv/h}	7.6 ^{μSv/h}	12.6 ^{μSv/h}	9.8 ^{μSv/h}	9.2 ^{μSv/h}	10.3 ^{μSv/h}	-
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点								
γ線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名							
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名							
	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することとする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回15時00分の測定値を記載。

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(24日 12時 00分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 5.5 cps, 2号機: 4.8 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 4.3 cps, 4号機: 5.8 cps
	Rw/B: 5.8 cps

固定式モニタリング設備地点								
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	11時40分	12.9 [✓] μSv/h	7.6 [✓] μSv/h	12.5 [✓] μSv/h	9.8 [✓] μSv/h	9.1 [✓] μSv/h	10.3 [✓] μSv/h	- μSv/h
	11時50分	12.9 [✓] μSv/h	7.6 [✓] μSv/h	12.5 [✓] μSv/h	9.8 [✓] μSv/h	9.1 [✓] μSv/h	10.3 [✓] μSv/h	- μSv/h
	12時00分	12.9 [✓] μSv/h	7.6 [✓] μSv/h	12.5 [✓] μSv/h	9.7 [✓] μSv/h	9.1 [✓] μSv/h	10.3 [✓] μSv/h	- μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点					
γ線空間線量率	設備地点名				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名				
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名				
項目	時 分				
	時 分				
	時 分				
	時 分				
	時 分				

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回15時00分の測定値を記載。

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年 3月24日 (第169報)
発信時刻 15時50分

経済産業大臣、福島県知事、楳葉町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏
連絡先 0240-25-4111(代) ()

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楳葉町大字波倉字小浜作1,2	
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第一号炉	
特定事象の発生時刻		平成 23年 3月 14日 21時 58分 15日 0時 00分	
要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (<input type="checkbox"/> する, <input checked="" type="checkbox"/> しない)	
	想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 楳葉第一原子力発電所の影響 <input type="checkbox"/> 調査中	
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照	
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 15時00分)	被ばく者の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:	
	気象情報 (確認時刻 15時00分)	天候: 晴れ 風向: 方位 南 風速: m/s 2.5 大気安定度: D (100)	
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 調査中	
応急措置		/	

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/11日15時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、 <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	□放出、 <input checked="" type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出口場所名: (地上高 m) □放出、 <input checked="" type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/11日15時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.05 (kg/cm ² MPa [gage]) 上昇・下降 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↓	30.2 °C 給水ノズル温度
原子炉水位 →	5000 mm SHC (低水位) 燃料頂部から 9196 mm →
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 <input checked="" type="checkbox"/> 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 <input checked="" type="checkbox"/> 未挿入
ボロン添加	添加 <input checked="" type="checkbox"/> 未添加
主蒸気隔離弁の開止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 <input checked="" type="checkbox"/> 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 <input checked="" type="checkbox"/> 非隔離
格納容器圧力 ↗	5.3 (kg/cm ² kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 25 °C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/11日 15時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射線物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射線物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/11日 15時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.02 (kg/cm ² g・MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレク) ↗	28.5℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	6100 mm (SHC (異常時) 燃料頂部から 10296 mm →)
外部電源	(受電有)無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	(正常)異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	(挿入)未挿入
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉)開
格納容器の隔離状態	(隔離)非隔離
格納容器圧力 ↗	5.0 (kg/cm ² g・kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 25℃ ↗ RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/11日 15時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/11日 15時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.01 (kg/cm ² g) (MPa [gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレク) →	34.3℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 ↗	3450 mm SFC (実管線) 燃料頂部から 7646 mm ↗
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の燃能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(開) 閉
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 ↗	2.22 (kg/cm ² g) (kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 27℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/4日 15時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り, □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	□放出, □停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出, □停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/4日 15時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.0% (kg/cm ² ・MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↘	27.3℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	4000 mm ^{SFC} (広帯域) 燃料頂部から 8196 mm →
外部電源	(受電有)無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	(正常)異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	(挿入)未挿入 CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉)開
格納容器の隔離状態	(隔離)非隔離
格納容器圧力 →	3 (kg/cm ² ・kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 28℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(24 日 15 時 00 分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	/
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm ³) ヨウ素(Bq/cm ³) 総量(Bq/cm ³)	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(24 日 15 時 00 分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
 ※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(24日 14時 30分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 : 5.5 cps , 2号機 : 5.1 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 : 3.7 cps , 4号機 : 6.0 cps
	Rw/B : 5.9 cps

固定式モニタリング設備地点								
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7※
	14時 10分	12.8 μSv/h	7.5 μSv/h	12.4 μSv/h	9.7 μSv/h	9.0 μSv/h	10.3 μSv/h	- μSv/h
	14時 20分	12.8 μSv/h	7.5 μSv/h	12.4 μSv/h	9.6 μSv/h	9.0 μSv/h	10.3 μSv/h	- μSv/h
	14時 30分	12.8 μSv/h	7.6 μSv/h	12.4 μSv/h	9.6 μSv/h	9.0 μSv/h	10.2 μSv/h	- μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点							
γ線空間線量率	設備地点名						
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名						
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名						
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名						
項目	時 分						
	時 分						
	時 分						
	時 分						

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、おおよその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回16時00分の測定値を記載。

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。
 注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(24 日 15 時 00 分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 : 5.2 / cps 、 2号機 : 4.7 / cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 : 4.4 / cps 、 4号機 : 5.9 / cps
	Rw/B : 5.0 / cps

固定式モニタリング設備地点								
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	14 時 40 分	12.8 / μSv/h	7.5 / μSv/h	12.4 / μSv/h	9.6 / μSv/h	9.0 / μSv/h	10.2 / μSv/h	-
	14 時 50 分	12.8 / μSv/h	7.5 / μSv/h	12.4 / μSv/h	9.6 / μSv/h	9.0 / μSv/h	10.2 / μSv/h	-
	15 時 00 分	12.8 / μSv/h	7.5 / μSv/h	12.4 / μSv/h	9.6 / μSv/h	9.0 / μSv/h	10.2 / μSv/h	5.5 / μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	

可動地点								
γ線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名							
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名							
項目	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							

*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
 ※データについては、おおよその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回15時00分の測定値を記載。

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年3月24日 (第170報)
発信時刻 18時41分

経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏
連絡先 0240-25-4111(代) ()

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12	
特定事象の発生箇所	福島第二原子力発電所 第一号炉	
特定事象の発生時刻	平成 23年 3月 14日 21時 58分 15日 0時 00分	
発生した特定事象の概要	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (<input type="checkbox"/> する, <input checked="" type="checkbox"/> しない)
	想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 福島第一原子力発電所の影響 <input type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 18時00分)	被ばく者の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:
	気象情報 (確認時刻 18時00分)	天候: 晴れ 風向: 方位 西南西 風速: m/s 1.6 大気安定度: F (10m)
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 調査中
	応急措置	

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/11日 18時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/11日 18時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.05 (kg/cm ² g) (MPa(gage)) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	30.2℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	5000 mm SHC (伝導検) 燃料頂部から 9196 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCS の作動・高圧系	作動 (未作動) 作動後手動停止
ECCS の作動・低圧系	作動 (未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の開止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 ↘	5.2 (kg/cm ² g) (kPa(gage))
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 25℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/4日 18時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/4日 18時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.03 (kg/cm ² ・MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	28.6℃ 給水ノズル温度
原子炉水位	6100 mm (S/C) 燃料頂部から 10296 mm →
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 <input type="checkbox"/> 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 <input type="checkbox"/> 未挿入
ボロン添加	添加 <input checked="" type="checkbox"/> 未添加
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 <input type="checkbox"/> 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 <input type="checkbox"/> 非隔離
格納容器圧力	4.9 (kg/cm ² ・kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 15℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/4日18時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/4日18時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.01 (kg/cm ² MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	34.3℃ 給水入ズル温度
原子炉水位 →	3450 mm SHC (定常域) 燃料頂部から 7646 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 ↓	2.05 (kg/cm ² kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 27℃ → RHR (B) 系による除熱中

*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/4日18時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/4日18時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.04 (kg/cm ² ・MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↗	29.6℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	4000 mm ^{S/C} (基準値) 燃料頂部から 8196 mm →
外部電源	(受電有)無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	(正常)異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	(挿入)未挿入 CR-10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉)開
格納容器の隔離状態	(隔離)非隔離
格納容器圧力 →	3 (kg/cm ² ・kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 28℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(24日 18時 00分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm ³) ヨウ素(Bq/cm ³) 総量(Bq/cm ³)	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(24日 18時 00分)			
	日時分	日時分	日時分	日時分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
 ※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。
 注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(24日 17時 30分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 5.3 cps, 2号機: 6.0 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 3.7 cps, 4号機: 5.8 cps
	Rv/B: 5.2 cps

固定式モニタリング設備地点		設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
γ線空間線量率	17時 10分	12.6	7.5	12.2	9.5	8.9	10.1	-	-
	17時 20分	12.6	7.4	12.2	9.6	8.9	10.1	-	-
	17時 30分	12.6	7.4	12.2	9.5	8.9	10.1	-	-
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

γ線空間線量率	設備地点名				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名				
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名				
項目	時 分				
	時 分				
	時 分				
	時 分				

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
 ※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回15時00分の測定値を記載。

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。
 注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(24 日 18 時 00 分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 : 4.8 cps , 2号機 : 4.9 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 : 4.2 cps , 4号機 : 5.7 cps
	Rw/B : 5.2 cps

固定式モニタリング設備地点								
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	17 時 40 分	12.6 μSv/h	7.4 μSv/h	12.3 μSv/h	9.6 μSv/h	8.9 μSv/h	10.1 μSv/h	- μSv/h
	17 時 50 分	12.6 μSv/h	7.4 μSv/h	12.2 μSv/h	9.5 μSv/h	8.9 μSv/h	10.1 μSv/h	- μSv/h
	18 時 00 分	12.5 μSv/h	7.4 μSv/h	12.2 μSv/h	9.5 μSv/h	8.9 μSv/h	10.1 μSv/h	- μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点								
γ線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名							
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名							
項目	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回15時00分の測定値を記載。

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成28年 3月24日 (第17報)
発信時刻 21時 47分

経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏
連絡先 0240-25-4111(代) ()

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作1-2	
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第 一 号炉	
特定事象の発生時刻		平成 28年 3月 24日 21時 47分	
要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (<input type="checkbox"/> する, <input checked="" type="checkbox"/> しない)	
	想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 福島第一原子力発電所の影響 <input type="checkbox"/> 調査中	
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照	
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 21時00分)	被ばく者の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:	
	気象情報 (確認時刻 21時00分)	天候: 晴 風向: 方位 北西 風速: m/s 1.6 大気安定度: F (10m)	
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有: 調査中	
応急措置		/	

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (日/月/時 00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成28年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (日/月/時 00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.05 (kg/cm ² (MPa [gauge])) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	30.0℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	5000 mm (正常域) 燃料頂部から 9196 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 (未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動 (未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 ↓	5.0 (kg/cm ² (kPa [gauge]))
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 25℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式 8-1 (2/4)

2号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/24日 21時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高: m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/24日 21時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.03 (kg/cm ² g) (MPa [gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↑	22.8℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	6100 mm (正常域) 燃料頂部から 10296 mm →
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 未挿入
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 非隔離
格納容器圧力 →	4.9 (kg/cm ² g) (kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 25℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(日/月/時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(日/月/時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.01 (kg/cm ² g) (MPa [gage]) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレク) →	34.3℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	3450 mm (燃料頂部から) 2646 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 (未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動 (未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の開止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 →	1.96 (kg/cm ² g) (kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 27℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式 8-1 (2/4)

4号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (日/月/時 分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (日/月/時 分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.04 (kg/cm ² MPa [gage]) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	22.6℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	4000 mm (燃料) 燃料頂部から 8196 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 (未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動 (未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入 CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 →	3 (kg/cm ² kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 20℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(2014年 21時 00分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	(この欄は斜線で塗りつぶされています)
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm ³) ヨウ素(Bq/cm ³) 総量(Bq/cm ³)	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(2014年 21時 00分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(検査側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
 ※データについては、おおよその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項 目	評価時刻 (24日 20時 30分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 5.8 cps, 2号機: 5.8 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 4.4 cps, 4号機: 5.8 cps
	Rv/B: 4.6 cps

固定式モニタリング設備地点		設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
γ線空間線量率	20時 10分	12.4 μSv/h	7.4 μSv/h	12.1 μSv/h	9.5 μSv/h	8.8 μSv/h	10.0 μSv/h	-	-
	20時 20分	12.5 μSv/h	7.3 μSv/h	12.1 μSv/h	9.5 μSv/h	8.8 μSv/h	10.0 μSv/h	-	-
	20時 30分	12.5 μSv/h	7.4 μSv/h	12.1 μSv/h	9.5 μSv/h	8.8 μSv/h	10.0 μSv/h	-	-
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点		設備地点名				
γ線空間線量率	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名					
項目	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回15時00分の測定値を記載。

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(27日 21時 00分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 5.5 cps, 2号機: 5.3 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 4.4 cps, 4号機: 4.5 cps
	Rw/B: 5.2 cps

固定式モニタリング設備地点								
	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
γ線空間線量率	20時 40分	12.5 μSv/h	7.3 μSv/h	12.1 μSv/h	9.4 μSv/h	8.8 μSv/h	10.0 μSv/h	- μSv/h
	20時 50分	12.5 μSv/h	7.3 μSv/h	12.1 μSv/h	9.4 μSv/h	8.8 μSv/h	10.0 μSv/h	- μSv/h
	21時 00分	12.4 μSv/h	7.3 μSv/h	12.1 μSv/h	9.4 μSv/h	8.8 μSv/h	10.0 μSv/h	- μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点								
γ線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名							
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名							
項目	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回16時00分の測定値を記載。